

# ユネスコスクール研修会 in 多摩

## 教師のための持続発展教育(ESD)の 授業公開セミナー

2014年に行われる「持続発展教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」を控え、多摩地域では、小・中学校におけるESDの授業実践が進んでいます。ASP UnivNet（ユネスコスクール支援大学間ネットワーク）の加盟大学である玉川大学は、多摩地域のそれぞれの学校における取組みへの支援を進めているところです。

このたび、先進的に進めている多摩市の小学校のESDの授業を全学年公開いたします。さらに、実践者並びに専門家による意見交換を予定しております。みなさまのご参加をお待ちしております。

日 時：平成25年1月19日（土）午前10時35分～午後5時  
※受付開始 午前10時

場 所：多摩市立多摩第一小学校〔東京都多摩市関戸3-2-23〕

お申込みは、12月20日より「ユネスコスクール多摩地域ネットワーク」のホームページ  
(<http://unesco-school-tama.jp/>)より、お申込みください。《参加費無料》

※ お問い合わせ：玉川大学 小林研究室 042-710-1171



多摩市ユネスコスクール  
イメージキャラクター  
「ゴーヤン(Go-yan)」



多摩市立多摩第一小学校

主催：玉川大学

共催：多摩市教育委員会、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク (ASP UnivNet)

後援：ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)、玉川大学ユネスコクラブ

# プログラム

\*内容は変更することもございます。  
ご了承ください。

## 午前の部 (10:35~12:10)

### ESD授業見学 「多摩市立多摩第一小学校で実施されるESDの授業」

1学年・2学年〔生活科 おもちゃランドで遊ぼう〕、3学年〔総合的な学習の時間 わたしたちのまちを調べよう〕、4学年〔総合的な学習の時間 WEB会議で他校に発信しよう〕、5学年〔総合的な学習の時間 世界の米料理を調べよう〕、6学年〔総合的な学習の時間 エネルギーを考えよう〕

## 午後の部 (13:30~17:00)

### 事例報告「多摩地域でのESDの取り組み」、「ESD実践の全国展開」

### パネルシンポジウム 「ESDの授業実践から考える2050年の大人づくり」

登壇者(予定) 平野啓子 初代日本ユネスコ国内委員会広報大使  
大塚 明 伊豆市教育委員会指導主事  
渡辺一雄 ユネスコ・アジア文化センター参与  
棚橋 乾 多摩市立多摩第一小学校長  
小林 亮 玉川大学教育学部教授

**ユネスコスクール**: 1953年、国際平和と人類の共通の福祉を促進するユネスコの理念を学校現場で実践する国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整を図る共同体ASPnet(Associated Schools Project Network)として発足、2013年には60周年を迎えます。現在、世界181カ国で約9,000校以上が活動しており、日本国内では550校の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び教員養成系大学が参加しています(2012年12月現在)。

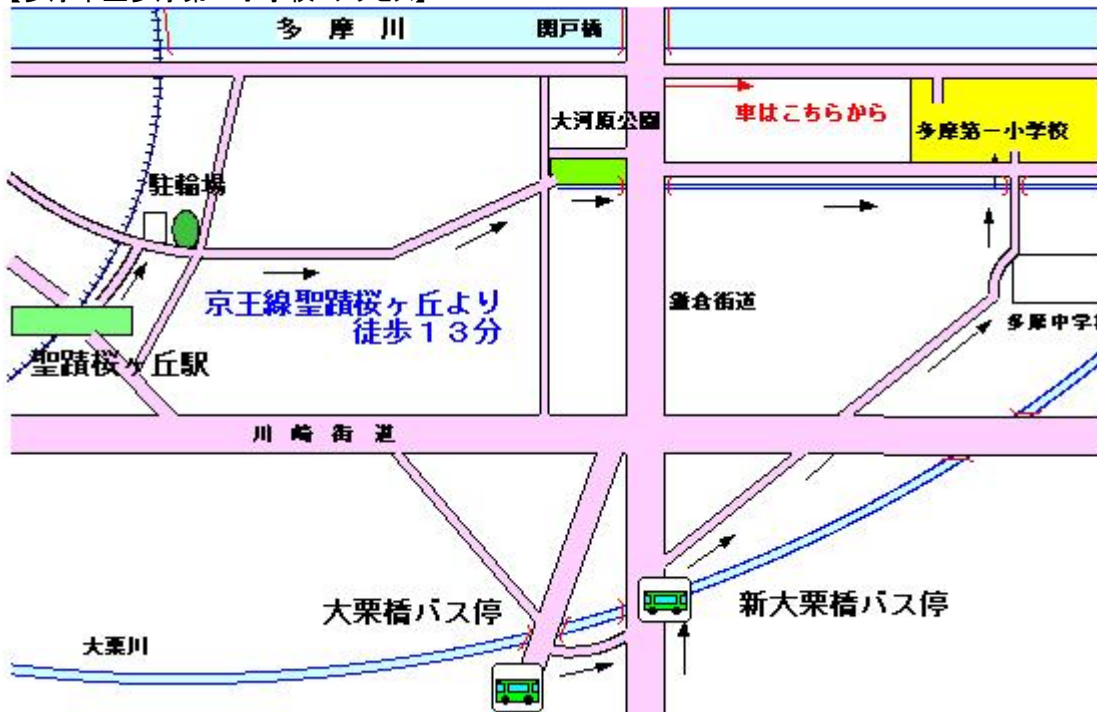
ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。

多摩市では27の市立小中学校全校がユネスコスクール登録を目指しており、22校が登録を完了しています。

**ESD**: 持続発展教育(ESD: Education for Sustainable Development)は持続可能な社会の担い手を育む教育で、ESDの実践には、特に次の2つの観点が必要です。

- ・人格の発達や自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと
  - ・他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」、「つながり」を尊重できる個人を育むこと
- そのため、環境教育、国際理解教育等の持続可能な発展に関わる諸問題に対応する個別の分野にとどまらず、環境、経済、社会の各側面から学際的かつ総合的に取り組むことが重要です。

#### 【多摩市立多摩第一小学校 アクセス】



【電車】  
京王線  
「聖蹟桜ヶ丘駅」より  
徒歩13分  
(東改札口を出て  
正面を進む)

【バス】  
多摩センター駅・  
永山駅からは  
「聖蹟桜ヶ丘駅行き」  
バス乗車  
「大栗橋バス停」又は  
「新大栗橋バス停」  
下車 徒歩10分